

NMMC News



独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター広報誌

No.117
2024年3月号
TAKE FREE

ご自由
にお取り下さい

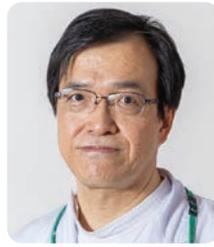


写真：名城公園・名城公園フラワープラザ オランダ風車花壇(地下鉄名城線「名城公園」②番出口)

- | | | |
|-------------|-------------------------|----|
| ■ 巻頭言 | 2024年はどうなる? 統括診療部長 片岡政人 | 2p |
| ■ ドクターよもやま話 | 日焼け止めの選び方 皮膚科医師 日高友梨 | 3p |
| ■ 職場紹介 | 感染制御対策室/手術室 | 4p |
| ■ トピックス | 名古屋医療センター医療連携交流会の開催について | 5p |
| ■ 医療最前線 | 前立腺がんについて 放射線治療科医師 宮川聡史 | 6p |
| ■ 連携医療機関紹介 | せとかいどう花井クリニック | 7p |



巻頭言



片岡 政人
統括診療部長

2024年はどうなる？

私たちの生活に大きな影響を与えた新型コロナが昨年5月に感染症法2類相当から5類に移行となり、もう少しで1年になります。街では飲食店をはじめかなり活気が戻って来たように思えますが、皆さまはいかがでしょう。

しかし落ち着いたように見えて、まだまだコロナ感染数は多く、その状況の中で世界を見渡してみると、今年1年は気がかりなことが多いように思えます。

2024年秋にはアメリカ大統領選挙があります。ロシアとウクライナの戦況や、それによるエネルギー・食糧の問題、環境問題への対応はどのようなのでしょうか。また、中東ガザ地区の戦闘や、スエズ運河やパナマ運河の運航の危険性が増していることなどにより、日本を含む世界の物流や経済に影響が及び始めています。

日本では、残業の規制に猶予期間が設けられていたトラック運転手、勤務医の残業時間も2024年4月からは規制されるようになり(2024年問題)、物流や医療に影響が出ないか心配されるところです。

最近ではほぼ毎日のように新聞紙上で生成AIについての記事を見かけます。つい最近では、文章、画像だけでなく、文章をもとに動画を作成する動画生成AIも開発されたとの発表がありました。著作権や偽情報の拡散、軍事への転用などの問題もあり、いかに規制を加えつつ推進していくか議論されていますが、幸い、AIは医療の分野では貢献が期待できそうです。

例えば、消化器内視鏡検査による診断はかなり正確にできるようになり、一部製品化も進んでおります。

また、喉の奥を見るだけでインフルエンザかどうか判別できる診断補助AIがAI搭載医療機器として初めて保険診療として認められました。今後はインフルエンザの検査で痛い思いをせずに済むようになるかもしれません。同様に内視鏡分野でもAI搭載医療機器が保険診療で使用できるようになると良いと思います。

今年には診療報酬改正があります。電子処方箋、電子カルテ共有サービス、マイナ保険証などのデジタル技術や、医療用ロボット、診療支援ツールの開発などにより業務の効率化を推進していく必要があると考えます。

不要な救急車利用や、医薬品の供給不足など、医療におけるさまざまな問題がありますが、良い方向に進むことを祈りつつ、我々にできることを着実に遂行していきたいと考えておりますので、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



ドクター よもやま話



日高友梨
皮膚科医師

日焼け止めの選び方

空の色がめっきり春めき、心地よい日差しが嬉しい季節を迎える頃ですね。日照時間も長くなり活動的になる時期。春はUVAという紫外線の量が急激に増え、意外にも一年を通して5月に最大量降り注いでいるのです。そのため早めの紫外線対策をお勧めしますが、外来でよく聞かれる「日焼け止めの選び方」についてお話します。

日焼け止めに「SPF50・PA+++」といった表記をご覧になったことはあるでしょうか。

PAは、春に増えるUVAを防ぐ効果の程度を示します。UVAは波長が長く肌の深いところにじりじりと影響してコラーゲンを変性させる紫外線で、シワ、たるみの原因となります。+～++++の4段階に分けられ+の数が多いほどUVAを防ぐ効果が高いです。

SPFは、夏に増えるUVBをどのくらいの時間防ぐことができるかの指標です。UVBは波長が短く肌表面に作用する紫外線で、赤く日焼けさせたりシミの原因となります。1～50、51以上は50+と表現され、SPF1とは20分程度、肌を赤くする時間を先延ばしにすることを意味します。例えば、SPF50は20分×50＝1,000分間（16.6時間）効果があり、朝7時に塗ると23時頃まで効果が持続するということになります。ただし、肌が赤くなり始める時間は個人差があることや汗で日焼け止めが流れること、塗りムラなどがあるので一概には言えません。

全部防ぐ一番強いものを選べばいいのでは？となるのですがSPF・PAが高いものは「紫外線吸収剤」が使用され、肌に負担がかかりやすいです。吸収剤が紫外線を吸収して化学反応を

起こし、熱エネルギーに変換することで紫外線を放出するため、化学反応に対してアレルギー反応が起きてしまう場合があります。透明なので白浮きせず塗り心地も滑らかで使用感の良いです。最近では吸収剤にコーティングを施して肌負担を減らすものもあります。

SPF・PAが低いものは「紫外線散乱剤」が使用されます。酸化亜鉛や酸化チタンなどの天然由来成分で肌を覆い、紫外線を反射・散乱させて防ぐため肌負担がかかりにくく「ノンケミカル」と表示されます。難点は、白浮きしやすく伸びにくいです。

ちょっとした買い物や外出にはSPF10～20・PA+～++程度を、長時間日差しが強い中でスポーツやレジャーを楽しむときにはSPF40～50+・PA+++～++++と強いものを選択されてはいいでしょうか。いずれの製品も、パッチテストをしてみることを、数時間毎に塗り直すことをお勧めします！このコラムが明日からの生活の一助となれば幸いです。



感染制御対策室

感染制御対策室では、病院で医療ケアを受けている患者さんや家族と、医療業務を担う医療関係者が、医療関連感染（院内感染）に罹患することを制御するため、エビデンス及びガイドラインに基づいた対策や院内感染サーベイランス（調査監視）による評価を組織的に行っています。具体的には、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、事務員の多職種で構成される感染制御対策チーム（ICT）での院内感染の発生動向の見張りや病院内各部署へのICTラウンド、薬剤耐性菌や手指衛生サーベイランス、ワクチンプログラムの実施などを行っています。薬剤耐性菌については薬剤耐性（AMR）対策として、抗菌薬適正使用支援チーム（AST）によるASTラウンドや抗菌薬使用量サーベイランス、抗菌薬治療に関する院内勉強会を実施しています。

また、近隣施設の感染制御対策チームや保健センターとも連携し定期的なカンファレンスを開催し感染症・感染対策に関する相談や情報共有・意見交換を行い地域での感染対策強化に努めています。



手術室

病気は患者・家族の皆さまの日常生活を大きく変えるばかりでなく、さまざまな不安と恐怖を与えます。特に「手術」と聞いただけで、ますます不安は大きくなるのではないのでしょうか。患者・家族の皆さまの不安や緊張を少しでも軽減できるように、術前・術後訪問を通じて、不安を抱えながら手術に臨む患者・家族の気持ちに寄り添い、個別性に応じた看護が提供できることを目標に手術看護を実践しています。

また、手術室では、あらかじめ計画された予定手術だけでなく、24時間365日「年中無休」で緊急手術にも対応できる体制をとっています。12部屋ある手術室で年間約5500件の手術を行なっています。手術手技や手術機器の急速な進歩により、手術は年々高度化・複雑化してきていますが、安全で効率的な手術環境と医療の提供を目標に、医師・麻酔科医師・臨床工学士とチーム一丸となって頑張っています。



名古屋医療センター医療連携交流会の開催について

令和6年1月27日(土)にメルパルクNAGOYAにて、当院主催の医療連携交流会を開催しました。この数年は、コロナ禍のため、しばらく開催できていませんでしたが、4年ぶりに開催することができ、地域の医療機関の医師や看護職員、訪問看護ステーションの職員などの関係者との交流を深め、より良い医療を提供できるように意見交換する機会となりました。

第一部は、長谷川院長、中区医師会長の多和田先生、北区医師会長の小林先生、東区医師会長の加藤先生と『みんなで共有しよう-地域で抱える医療の課題-』と題してテーブルディスカッションを行いました。本稿では3つの議題の中から、「救急外来からの入院となると、かかりつけ医からの情報が得られない問題について」をご紹介します。

なぜ問題になるのかと言いますと、通常、病院では、近隣のかかりつけ医に作成いただいた紹介状により、スムーズに患者さんへの診療を行っています。一方で、事故や容体の急変などにより患者さんが病院に救急搬送された場合

は、お薬手帳をお持ちであれば、処方されているお薬を把握できますが、血液検査などの値は不明であり、緊急手術などの必要な診療に影響することがあるためです。

問題点への対応策としては、マイナンバーカードの利用、患者さん自身に自分のサマリーを持ち歩いてもらう、薬剤情報や採血データを貼ることのできる自分カルテの作成などの患者さんの情報を得られるツールがあるとよいのではないかといった意見があがりました。すぐに解決出来る課題ではありませんが、それぞれが取り組んでいる対策を情報共有し、少しでもよりよい医療を患者さんに提供したいという思いで、ディスカッションが行われました。

第二部の懇親会では、地域の医療機関の皆様との顔の見える関係づくりを再構築する趣旨で当院の各診療科の紹介を行い、連携を深める事が出来ました。

今後とも、地域の医療機関の皆様との連携を深め、より良い医療を提供できるように努めて参ります。



長谷川院長



第一部では当院の医療情報管理部長の佐藤医師に、オンライン診療予約・検査予約システムカルナコネクトについてもご紹介いただきました。



医療最前線



宮川 聡史
放射線治療科医師

前立腺がんについて

今回は前立腺がんについてお話しします。前立腺がんの特徴として、50歳以上の比較的高齢男性に発症する事、男性ホルモン依存性であるという事が挙げられます。限局期の前立腺がんの治療方法は、手術や永久挿入小線源治療、外部放射線治療などがあります。放射線治療はがんが前立腺の周囲や精嚢へ広がっている場合にも適用となります。病期によってはホルモン療法と組み合わせて治療を行う事もあります。

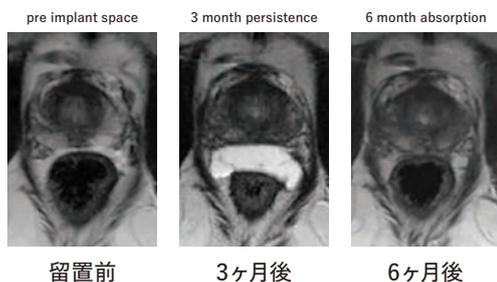
放射線治療中は尿の回数が多くなったり、尿が出にくくなったりする事があります。また、放射線治療後半年～2年後に排便の際に直腸から出血する事があります。直腸からの出血が繰り返し起こる場合は、座薬の使用や内視鏡にて焼灼術を行いますが、まれに直腸出血は直腸穿孔など重篤な有害事象を引き起こす事もあります。そこで直腸を保護するために直腸周囲ハイドロゲルスペースー留置術というものがあります。これは前立腺がんに対する放射線治療を施行する際に照射される直腸体積の減少と吸収線量の低減を意図して開発され、ハイドロゲルを前立腺と直腸との間に挿入することで、距

離を拡げ直腸の線量体積ヒストグラムを改善します。またこのハイドロゲルは注入後、前立腺と直腸の間に約3ヶ月間スペースを維持し、その後約6ヶ月かけて体内に吸収されます。留置術により放射線治療による直腸の晩期有害事象の減少や消化管・尿路のQOL改善、性機能のQOL維持が可能であったと報告があります。¹⁾

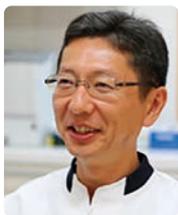
当院でも泌尿器科のご協力の元2023年より導入しております。治療計画上では明らかに直腸への被曝は低減しております。これにより1回線量を増やし治療回数を34回から28回へ減らした治療を行っております。今後は20回での照射を予定しております。このように有害事象を減らしつつ患者様の通院負担も減らす事が可能となります。

ハイドロゲルスペースー留置術は、適応外や禁忌などもありますので、泌尿器科や当科に、お気軽にご相談ください。

1) Hamstra D, et al. Int J Radiat Oncol Biol Phys 2017; 97: 976-985



線量分布図
(濃紺:スペースー、青:膀胱、茶色:直腸)



せとかいどう花井クリニック

院長
花井雅志



名古屋医療センターの皆様には平素よりお世話になり誠にありがとうございます。特に乳腺外科の先生方とはがん地域連携パスや愛知乳がん検診研究会を通じてお世話になっております。最近では当院からの紹介だけではなく、他院から紹介された方の逆紹介も頂く場合もあり大変感謝しております。

まずは自己紹介からさせていただきます。私は名古屋市中川区に生まれ育ち、平成8年に三重大学医学部を卒業しました。卒業とともに名古屋に戻り、名古屋第一赤十字病院、旭労災病院、名古屋大学医学部附属病院などで外科医として勤務してまいりました。消化器を主体に乳腺や甲状腺などの手術にも従事してきました。術後全身管理を行い、内科的疾患にも対応できるスキルを身に付けさせていただきました。現状で日本外科学会、日本消化器外科学会、日本乳癌学会、日本消化器病学会の専門医資格を取得し、その他の学会でも数々の資格を取得してきました。

続きまして当院を紹介させていただきます。場所は尾張旭市と守山区の境目にあり、名鉄瀬戸線の印場駅から徒歩3分で、駐車場も完備しております。内科、外科、乳腺外科、肛門外科を標榜しており、近隣の方は生活習慣病をはじめとした一般内科としてご利用いただいております。外科としてはケガや巻き爪の治療を行っております。巻き爪については遠方からおみえになる方も多く、患者さんと相談して手術にするかワイヤーにするか治療法を決めておりま

す。乳腺外科では生検まで行い、がんの診断となればご紹介させていただきます。手術までの時間を少しでも短縮できるように当院でできる検査はなるべく済ませております。また、手術が終わってから、がん地域連携パスで診療もしております。がん地域連携パスは紹介先の先生と私が連携して診療することですが、患者さんからは二人の主治医がいて安心感があると大変感謝されております。また、良性腫瘍で大きいものや増大傾向のものについては、当院で摘出手術を行っております。肛門外科では痔の日帰り手術を行っております。局所麻酔だけではなく仙骨硬膜外麻酔（肛門全体の麻酔）も導入しており、痔核だけでなく痔瘻や裂肛など様々な手術に対応しております。

開院して9年が経ち今年の10月でいよいよ10周年となりますが、まだまだフレッシュな気持ちで頑張りたいと思っております。皆様、どうぞよろしくお願い致します。

せとかいどう花井クリニック

院 長：花井雅志
所 在 地：〒488-0840 愛知県尾張旭市印場元町3-4-5
電 話：0561-52-8715
診 療 科：内科・外科・乳腺外科・肛門外科
診 療 時 間：月曜、火曜、木曜、金曜
午前 9:00-12:00 / 午後 16:00-19:00
水曜 午前 9:00-12:00
土曜 午前 9:00-12:30
【休診】日曜・祝日、水曜午後、土曜午後
※午後(午前診と夕診の間)に完全予約制で手術・往診などを行います。
U R L : <https://setokaido-hanai.com/index.html>



【外観】印場駅方面から来た時の外観です。



【外観】医院の壁面には、医院名と内科・外科・乳腺外科・肛門外科と大きく表示しています。

外来診療担当表

令和6年3月1日現在

診療科	月	火	水	木	金			
内受付A	消化器内科	1診	平嶋	村山	島田	浦田	恒川	
		2診	齋藤	交代制(再診)	近藤尚	藤田(1・3・5週) 田中(2・4週)	宇仁田	
		3診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	
		4診					渡邊	
	呼吸器内科	4診					渡邊	
		5診	佐野	沖	篠原(午前) 山田有/ 鳥居(午後)	石井 (初診)	沖	
		6診	鳥居厚(午前) 小暮器(午後)	山田有(午前) 篠原(午後)	小暮器(初診)	北川	小暮器(午前) 丹羽英(午後)	
		7診	沖/ 篠原(初診)	丹羽英/ 佐野(初診)	丹羽英		山田有/ 鳥居厚(初診)	
	内受付B	循環器内科	8診			ペースメーカー (1・3週)	ペースメーカー (1・3週)	
			9診	近藤隆	交代制	交代制	近藤隆	細野
10診			今井	上村	山下	富田	宮原	
11診			田ヶ原	早川	山田高	山田高	森	
糖尿病・ 内分泌内科		12診				フットケア (2週・午後)	交代制(初診)	交代制(初診)
		13診	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)	交代制(初診)
		14診	丹羽靖	丹羽靖	田實	田實	杉浦	
		15診	杉浦	山田努	山家由	山田努	山家由	
受付C		膠原病内科 リウマチ科	8診				小嶋 (午前・初診)	梅村(再診)
			12診		鈴木(午前・初診) 小嶋(午後・再診)		小嶋 (午前・初診)	梅村(再診)
	17診	高野	高野 (予約のみ)	梅村(午前/ 平野(午後))	鈴木	鈴木(午前/ 小嶋(午後))		
	18・19診	長谷川貴 (午後)⑱		高野⑱・ 水谷有⑱		長谷川貴⑱・ 水谷有⑱ (午前・初診・午後再診)		
腎臓内科	18診	松本 (午後・再診)	—	—	—	—	—	
	19診	稲本 (午前・再診)	中村(再診)	—	龍華(再診)	—	—	
受付D	脳神経内科	20診	小林	瀧田	梶田脩	原田	榊原	
		21診			脳波・てんかんセンター (小林 離)	菅根(もの忘れ外来 連携予約のみ)	龍見	
		22診	梶田脩(初診)	榊原(初診)	龍見(初診)	瀧田(初診)	原田(初診)	
		25診	脳波・てんかんセンター (岡田)			岡田	睡眠センター (予約のみ)(岡田)	
血液内科 (3階)	1診	永井	飯田	永井	飯田	足立		
	2診	足立	鈴木康	今橋伸	鈴木康	今橋伸		
	3診	南	安田	小暮あ	平野大	小暮あ		
	LTFU	飯田(1週)	飯田(2週)		飯田(3週)			
腫瘍内科(2階) (化学療法室)	1診	吉田(再診)	加藤恭(再診)	北川(再診)	大脇(再診)	交代制(再診) 山口		
	2診		小暮器/船橋					
	初診	加藤恭・北川	北川・大脇	吉田・大脇	吉田・加藤恭	加藤恭・大脇		
禁煙外来(2階)	特別診察室	—	当番制 (午後・予約のみ)	—	—	当番制 (午後・予約のみ)		
緩和ケア内科 (2階)	特別診察室	稲田②/ 西堀①	船橋①	船橋① 近藤建 (外科外来)	稲田②/ 西堀①	西堀①		
内視鏡室 (2階)	消化器	島田/村山 近藤尚/ 宇仁田/ 恒川/藤田	島田(当番制)/ 近藤尚/ 浦田/宇仁田/ 恒川/藤田	平嶋/齋藤/ 浦田/宇仁田/ 恒川/日比野/ 藤田	近藤尚/ 宇仁田/ 齋藤/恒川/ 藤田	島田/平嶋 (当番制)/ 村山/齋藤/ 浦田/近藤尚/ 藤田		
	呼吸器	BF(当番制)	—	—	TBLB(当番制)	—		
精神科(2階)	再診2診	—	宮本	末宗	宮本	宮本		
※精神科では当面の間、初診患者の受入れを停止しております。								
脳神経外科 (2階)	1診	倉光	根来 (予約のみ)	前澤	交代制	須崎		
	2診	杉山	松野	江口		伊藤真 江口 (1・3・5週)		
	3診	安藤遼						
	4診	高橋				安藤(2・4週)		
外科 (1階)	1診	片岡 (消化器)	服部正 (消化器)	加藤彩 (乳腺)	末永 (肝胆脾)	多代 (一般・肝胆脾)		
	2診	村上 (心臓血管・午前/ 亀井 (形成2・4週午後)	鈴木 (一般・肝胆脾)	近藤建 (一般・消化器)/ 竹田伸 (一般・消化器)	林孝 (乳腺)	林孝 (乳腺)		
	3診	羽田 (一般・消化器)	中山智 (心臓血管)	田嶋 (一般・消化器)	山家豊 (一般・消化器)	木部 (一般・消化器)		
	4診	森田 (乳腺・午後/再診)	児玉 (末梢血管 4週以外・午後)	関 (呼吸器)	萩原 (心臓血管)	竹内崇 (心臓血管)		
	5診	山田勝 (3週以外)			森田(乳腺)	加藤彩(乳腺)		
	特別診察室							

※ stomatology 火曜1・2・3・4週 ※末梢血管外科は完全予約制です(13:30~15:30)。 ※形成外科(13:30~15:30)

診療科	月	火	水	木	金		
整形外科 (1階)	1診	家崎	平良	阿部	杉山	生田	
	2診	杉山	阿部	家崎	生田	平良	
	3診	—	浅井(リウマチ)	浅井(人工関節)	—	—	
	4診	佐藤(人工関節)	服部(リウマチ)	佐藤(リウマチ)	—	服部(リウマチ)	
	5診	服部(人工関節)		小嶋(リウマチ)	小嶋	小嶋(リウマチ)	
	6診			—		風間(2週)	
皮膚科 (3階)	1診	江畑	伊藤	伊藤	清水	伊藤	
	2診	池谷	池谷	竹原	大野	池谷	
	3診	日高	日高	江畑	日高	江畑	
	4診	—	—	—	竹原	—	
小児科 (3階)	午前	1診	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	二村 (初診・一般)	交代制 (初診・一般)	田中 (初診・一般)
		2診	堀部 (血液・腫瘍)	堀部 (長期フォロー)			
		3診	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)	前田 (長期フォロー)
		4診	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (循環器)	後藤雅 (長期フォロー)	後藤雅 (循環器)
	午後	1診	交代制 (一般)	二村 (アレルギー)	田中 (アレルギー)	交代制 (一般)	金子 (小児科)月2回 交代制(一般)
		2診	堀部 (長期フォロー) 高橋 (カウンセリング)	竹中純 (神経)			菊井/後藤雅 (乳児健診)
		3診	前田 (長期フォロー)	交代制 (一般)		前田 (長期フォロー)	高橋 (カウンセリング)
		4診	後藤雅 (予防接種) 木村 (内分泌)月2回	後藤雅 (予防接種)	交代制 (一般)	後藤雅 (予防接種)	後藤雅 (予防接種)
遺伝(2階)	特別診察室	—	—	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	
診療科	遺伝(3階) カウンセリング	看護外来	服部浩・ 田口・河合	—	服部浩・ 田口・河合	—	
※遺伝診療科及び遺伝カウンセリングは完全予約制です。 ※カウンセリング予約枠：月曜1枠(13:00-14:00)、木曜2枠(13:00-14:00、15:00-16:00)							
耳鼻いんこう科 頭頸部外科 (3階)	1診 (初診)	加藤健・中田	寺西・神本	森永・神本	竹内佑	加藤健・神本	
	2診	森永・神本	森永	加藤健	中田 横井 (再診13:30-15:30)	中田	
	3診	寺西	竹内佑	竹内佑	加藤健	寺西(1・3・5週) 森永(2・4週)	
めまい・耳鳴り・難聴							
眼科 (3階)	1診 (初診)	河合(1・3・5週) 重(2・4週)	服部友	近澤	岡戸	手術日	
	2診	岡戸	董(1・3・5週) 河合(2・4週)	鳥居良			
	3診						
	4診		廣瀬		廣瀬		
	5診	服部友(1・3・5週) 小口(2・4週) 鳥居(午後)	近澤	服部友			
	6診	吉田統		久保田	久保田		
産婦人科 (3階)	1診	中西	吉田沙	熊澤	熊澤	中西	
	2診	稲葉	交代制	稲葉	交代制	吉田沙	
※木曜の診察は、手術がある場合は1診対応となり、どちらかの医師の診察となります。産褥1ヶ月健診は、金曜日に行います。							
泌尿器科 (3階)	初診	鈴木知	交代制(1・3・5週)	平林	土井	吉野	
	再診	吉野	土井	鈴木知	伊藤	岩間	
	再診	吉澤	—	岡村		平林	
専門外来 (3階)	1診	笠原	小暮あ (12:00まで) 神田(午後)	今橋真 (14:00まで)	横幕 松下(3週午後)	横幕 渡辺(1週午後)	
	3診	小暮あ (14:00まで)	担当医 (1週・3週) 林(2週・4週)	担当医 (12:00まで)	小暮あ (12:00まで)	今橋真	
歯科口腔外科 (3階)	初診	上嶋	渋谷	小田	交代制	成田/白井	
	再診	渋谷	小田	渋谷	交代制	小田	
	再診	小田	上嶋	上嶋		渋谷	
	再診	成田	宇佐美	宇佐美		上嶋	
	再診	白井	成田/白井	白井		宇佐美	
放射線治療科 (地下1階)	初診・再診	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	宮川・加藤恵	
	診断	午前	宇佐見・ 安藤嘉	宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 宇佐見	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・ 安藤嘉
		午後	宇佐見・安藤嘉 大岩(午後3時~)	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉	大岩・宇佐見・ 安藤嘉
	X線TV5	午前			消化器	呼吸器	消化器
		午後					
	X線TV6	RI/PET	宇佐見	安藤嘉	宇佐見	大岩	大岩
超音波	大岩・ 森田(午前)	森田	大岩(生検)/ 森田	遠藤・須田 (乳腺)	—	—	
検診	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	大岩・須田	

◎外来受付時間 ○初診/午前8時30分~午前11時 ○再診/午前8時20分~午前11時
◎休日 土曜、日曜、祝日、年末年始(12/29~1/3)

◎担当は都合により予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター